



特徴

- HTML5をベースにしたクロスブラウザ、クロスプラットフォーム
- GoogleマップとGPSで位置表示
- ネットワークトポロジー自動検出・生成
- すべてのアドバンテックのIP通信製品およびサードパーティ製品に対応
- 階層アーキテクチャは、4000ノードまで拡張可能
- 動的にコネクティビティを表示-PoE、リング、ワイヤレス、セルラー
- 論理トポロジービュー - IGMP、VLAN、VCOM、USDG
- アドバンスドNMS機能 - リモートデスクトップ、リモート設定、アラーム再生

イントロダクション

Advantech WebAccess/NMSは、ネットワーク管理システム(NMS)用のWebブラウザベースのソフトウェアパッケージです。Advantech WebAccess/NMSは、すべてのイーサネット対応アドバンテック製品およびサードパーティのデバイスを管理するために、SNMPおよびIGMP通信標準を使用して設計されています。WebAccess/NMSは、リモートでネットワークの監視、管理するプラットフォームを簡単に使うことができます。WebAccess/NMSは、産業用グレードの集中型ネットワークの管理を有効にします。

IPベースのネットワークを介してデバイスをモニタリング、設定、管理するために開発されたプラットフォームです。WebAccess/NMSには、デバイス管理、アラーム管理、効率管理、トポロジー管理とシステム管理を含んでいます。

特徴内容

HTML5をベースにしたクロスブラウザ、クロスプラットフォーム

WebAccess/NMSは、ネットワークソフトウェアアーキテクチャを備えた100%WebベースのHTML5 NMSです。HTML5に基づいて、ソフトウェアパッケージをインストールすることなく、Chrome、Internet Explorer、Firefox、SafariなどのWebブラウザを使ってWebAccess/NMSにアクセスすることができます。パソコンや携帯デバイスなどの任意のデバイスからWebAccess/NMSを簡単にアクセスできます。

GoogleマップとGPS位置

デバイスの経度と緯度とそのトポロジー群を定義できます。WebAccess/NMSは、GoogleマップおよびOpen Streetマップ上の位置を確認できます。実際の位置とコネクティビティが地図上に明確に示されます。中規模から大規模アプリケーションの導入と管理にメリットがあります。

ネットワークトポロジー自動検出・生成

WebAccess/NMSは簡単にネットワークトポロジー図を作成します。必要となるは、ネットワークドメインのIPレンジを設定することだけです。スタートボタンを押すと、WebAccess/NMSがこのIPレンジ内のデバイスとコネクションを検出します。

アドバンテックのIPベースのデバイス、サードパーティ製のデバイスに対応しています。

WebAccess/NMSは、UNO、ARK EKI、ADAMなどのアドバンテックのIPベースのデバイスをすべて対応しています。サードパーティのデバイスは、デバイス・プロファイルの作成、インポートすることに対応しています。

論理トポロジービュー

WebAccess/NMSは、トポロジーの物理仕様リンクだけでなく、論理リンクビューにも対応しています。論理トポロジーには、VLAN、IGMP、VCOM、USDGが含まれます。VLANとIGMPでは、VLANIDまたはIGMPグループを選択して、論理リンクがトポロジー図に表示されます。VCOMとUSDGの場合、論理ビューはアクセスされたデバイスとデバイスサーバーの間の経路があります。

動的接続性を表示

トポロジー・ビューでは、WebAccess/NMSは、PoE、リング、ワイヤレス、セルラーなどの動的に接続性を表示することができます。PoE電源の消費電源(W)は、接続ラインと一緒に表示されます。リングの場合、コネクションタイプが実際のリング接続状態に応じて迅速に変更されます。また、アクセスポイントとワイヤレスクライアントとの接続を動的に宛先することもできます。ワイヤレス・クライアントが別のアクセスポイント(AP)に変わると、すぐに変更されます。

階層アーキテクチャ

NMSは、より多くのデバイスのためのシステム能力を考慮し、リモートアクセスのための機能を有効化するための階層的アーキテクチャを用いて設計されています。集中管理システム(CMS)は、EMSからデバイス情報を収集し、処理して視覚的データを提供します。要素管理システム(EMS)は、SNMPおよびIGMPを用いて、デバイス状態を集めてCMSに伝えます。

リモートデスクトップ

WebAccess/NMSサポートHTML5 ベースのリモートデスクトップ機能Webベースのリモートデスクトップで、パソコンを使うシステム管理者に管理の柔軟性を拡張します。

リモート設定

デバイスをクリックし、設定デバイスの設定Webにつながり、またはコマンドラインを使うtelnetやSSHを開いてデバイスの設定を行えます。デバイスがプライベートネットワーク上にある場合でも、デバイスをリモートで設定するためにWebAccess/NMSを使用できます。

アラーム再生

トラップやイベントの履歴の再生は、トラブルシューティングで原因を特定するのに役立ちます。再生はトポロジー図に合わせて表示されます。デバイスの色やリンク種類と色を変化させて表示することで、過去の問題について状態を視覚的にアラートを確認できます。

Advantech WebAccess/NMS



最小システム要件

NMSサーバー	CPU	2 GHzまたはそれ以上のデュアルコアCPU	
	RAM	最小8GB、それ以上を推奨	
	HDスペース	30 GB以上	
	OS	Windows 7 (32/64ビット) SP1、 Windows 8 (32/64ビット)、 Windows Server 2008 (32/64ビット) R2 Windows Server 2012(32/64ビット)	
		ソフトウェア	.Net Framework 4.5以降
ブラウザ	Chrome	バージョン37以降	
	Firefox	バージョン31以降	
	インターネット・エクスプローラ	IE11以降のバージョン	
	Safari	バージョン7以降	
ディスプレイ	Chrome	バージョン37以降	
	ディスプレイ分解能	1024 × 768以上(推奨)	

注文情報

NMS-U050-ULE	50ノード
NMS-U100-ULE	100ノード
NMS-U300-ULE	300ノード
NMS-U500-ULE	500ノード
NMS-U01K-ULE	1000ノード
NMS-U04K-ULE	4000ノード
Trial Version	6か月間の無料トライアル